

高校教育改革実行計画の策定に向けた生徒意識調査 集計結果

令和8（2026）年9月11日
栃木県教育委員会

目次

本資料の構成

1	調査概要・回答者属性	回答数、男女別、学科別の概要	P3
2	質問項目の整理	17項目を短い表現で一覧化	P4
3	全体比較	質問項目別の肯定的回答率	P5
4	質問項目別回答	各質問の肯定的回答率や回答	P6～27
5	属性別クロス集計	性別、課程、学科による比較	P28～34
6	類型別比較	各類型の拠点校・協力校の差	P35～41

1 調査概要・回答者属性

調査の目的、対象、回答者属性を整理。

目的・対象

目的：高校教育改革実行計画の策定に向け、生徒の意識・ニーズを把握し、施策検討の基礎資料とする。

対象：県内公立中学校3年生、県立高校2年生（全日制・定時制・通信制）。

高校生回答数

8,117

中学生回答数

11,731

設問数

高校生21問、中学生20問
（うち自由記述高校生4問、中学生3問）

肯定的回答

少しそう思う＋とてもそう思う

男女別回答者数

高校生：男性 3,995、女性 3,955、回答しない 167

中学生：男性 5,948、女性 5,602、回答しない 181

高校生 学科別回答者数

普通科 5,302、総合学科 841、工業科 795、商業科 501、農業科 453、
家庭科 188、水産科 24、福祉科 13

2 質問項目の分類

中学生に対しQ01～Q20、高校生に対しQ01～Q21の高校での学びに関して以下の学びの機会や力に関する需要の調査を実施。質問項目は質問内容が分かる短縮表現で表示。

Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会

Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心

Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心

Q04 企業・専門家から学ぶ授業

Q05 地域課題解決への参加

Q06 文系内容をデータや実験で考える学び

Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び

Q08 データを用いて意見を伝える力

Q09 データや根拠に基づいて判断する力

Q10 文理融合分野への関心

Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ

Q12 相談しやすい環境

Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会

Q14 卒業後も学び続けようとする意欲

Q15 多様性を尊重した学ぶ環境

Q16 他校・大学等との共同探究の機会

Q17 専門家から学ぶ探究活動

Q18 地域の仕事や産業を学ぶ機会についての希望（自由記述）

Q19 文系・理系を組み合わせた学びについての希望（自由記述）

Q20 自分に合った学び方や学習環境についての希望（自由記述）

Q21 高校教育への意見・提案（自由記述・高校生のみ回答）

3 質問項目別 肯定的回答率の比較（自由記述は除く）

質問内容が分かる短縮表現で表示。数値は肯定的回答率（％）（「少しそう思う」＋「とてもそう思う」）。

質問項目	高校生	中学生
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	75.4%	78.9%
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験への関心	79.7%	77.9%
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	71.5%	74.8%
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	76.4%	84.6%
Q05 地域課題解決への参加	80.1%	74.5%
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	65.6%	66.8%
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	73.4%	75.3%
Q08 データを用いて意見を伝える力	78.5%	79.7%
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	87.3%	85.5%
Q10 文理融合分野への関心	72.1%	71.8%
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	91.5%	96.6%
Q12 相談しやすい環境	76.2%	91.5%
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	73.5%	79.8%
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	87.3%	89.5%
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	91.9%	97.5%
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	74.8%	77.7%
Q17 専門家から学ぶ探究活動	76.9%	81.4%

色の目安  低い → 高い

高校改革の方向性～2024年に向けた高校の姿～

- 視点1 不確実な時代を自立して生きていく主権者として、AIに代替されない能力や個性の伸長
- 視点2 我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成
- 視点3 一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保



- 類型1 専門高校の機能強化・高度化（アドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成等）
- 類型2 普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化（文理の双方の素養を有する人材の育成等）
- 類型3 地理的アクセス・多様な学びの確保

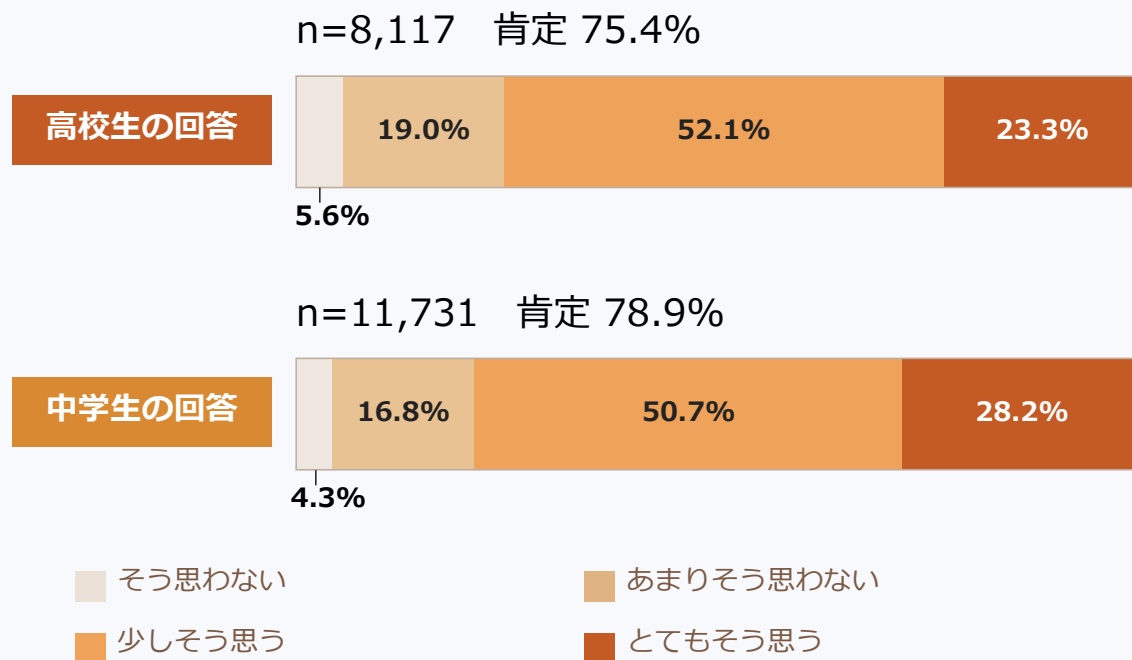
4 質問項目別回答

Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：地域では、どのような仕事をする人が必要とされているかについて、学んでみたい。

中学生設問：地域では、どのような仕事をする人が必要とされているかについて、高校で学んでみたい。



肯定回答者の自由記述（Q18~Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「実際に職場を体験し、どのような仕事に取り組んでいるのかを知りたい。」（同様245件）
- ・「地域の特色ある企業や仕事について学び、体験できる授業を実施してほしい」（同様108件）

中学生

- ・「実際に仕事を体験したり、見学する授業を実施してほしい」（同様501件）
- ・「福祉系の体験活動や授業に参加してどんな仕事なのか詳しく知りたい」（同様278件）
- ・「将来の職業を考えるきっかけとなるような、職業体験やその仕事の話などを聞きたい」（同様170件）

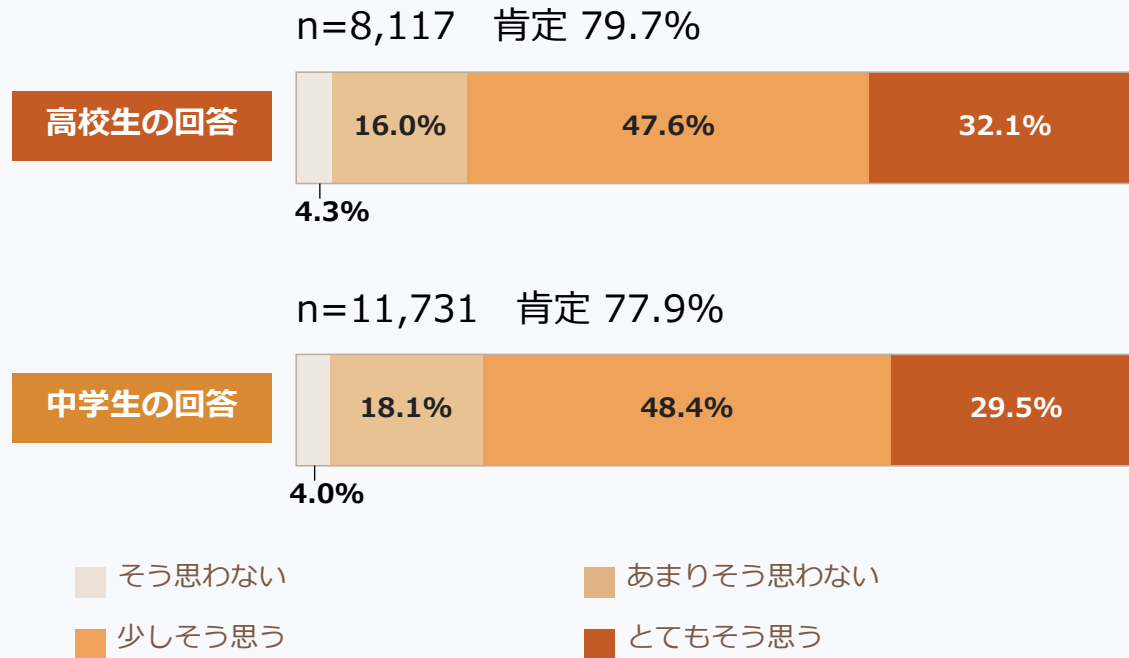
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：仕事の体験（インターンシップ・職場見学など）の中で、実際の企業課題の解決策を考えるような課題解決型の体験を、もっとしてみたい。

中学生設問：高校の職場体験や工場見学などで、会社や地域の課題の解決策を考えるような体験をしてみたい。



肯定回答者の自由記述（Q18~Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「地域の会社や工場を見学し、働いている人の話を聞ける授業を実施してほしい」（同様55件）
- ・「地元企業での職場体験や、地域産業が抱える課題について考えるグループワークに参加したい」（同様15件）

中学生

- ・「職場体験や工場見学など地域の仕事に触れることができる授業を受けたい」（同様308件）
- ・「地域で働く方々から仕事や働き方について話を聞くことができる授業を実施してほしい。」（同様173件）
- ・「会社やお店で体験したり、地域の課題について調べる授業を高校で実施してほしい」（同様48件）

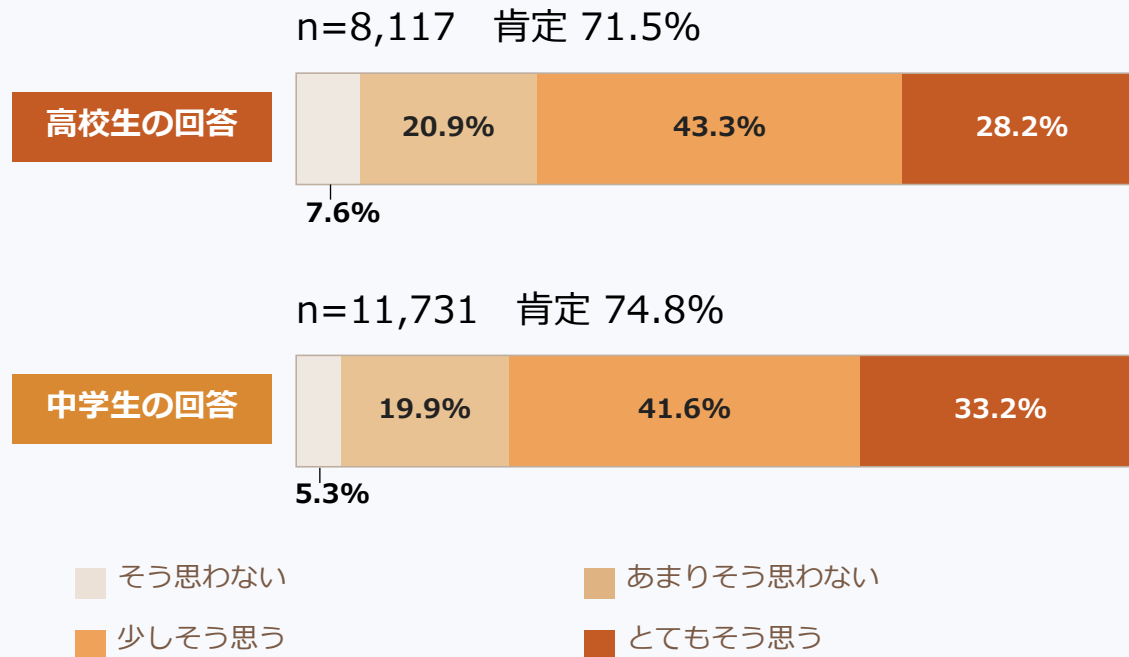
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：技術や資格を身に付けて地域の産業に関わる仕事（農業・工業・商業・福祉など）に就くことを、自分の将来の進路の選択肢としてもっと真剣に考えてみたい。

中学生設問：将来、資格や専門的な知識・技術を身に付けて、地域の仕事（農業・工業・商業・福祉など）に関わることに興味がある。



肯定回答者の自由記述（Q18~Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「農業について理解を深めるため、農業の仕事を実際に体験できる授業を実施してほしい。」（同様124件）
- ・「地域の仕事や産業について学ぶため、地域で働く方々から話を聞くことができる授業をもっと実施してほしい。」（同様75件）
- ・「仕事の内容や地域産業について学ぶとともに、その仕事に必要な資格についても知りたい。」（同様9件）

中学生

- ・「福祉分野の体験活動や授業を通して、仕事の内容について詳しく知りたい。」（同様296件）
- ・「将来の職業について考えるきっかけとなるような職業体験や、様々な仕事に就く方の話を聞く機会を充実させてほしい。」（同様172件）
- ・「地域の仕事や産業について、職場体験や見学を通して学びたい。」（同様140件）

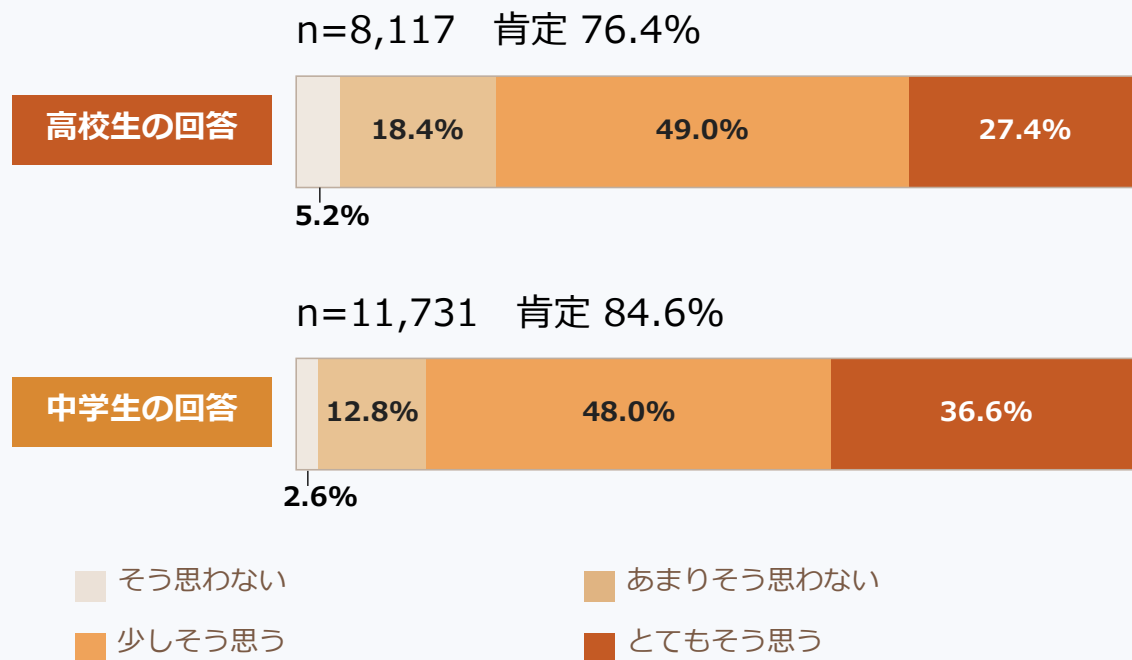
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q04 企業・専門家から学ぶ授業

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：企業の人や地域の専門家が学校に来て直接教えてくれる授業や講話が、今よりもっとあるとよい。

中学生設問：高校で、企業の人や地域の専門家が学校に来て直接教えてくれる授業や講話がたくさんあるとよい。



肯定回答者の自由記述（Q18~Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「職業体験や、様々な職業に就く方の話を聞くことができる授業を実施してほしい。」
(同様233件)
- ・「地域の特産品や産業について学ぶ体験活動や、専門家による講話に参加したい。」
(同様50件)
- ・「AIやロボットが活用されている職場を見学し、先端技術と仕事との関わりについて学びたい。」
(同様21件)

中学生

- ・「将来の職業について考えるきっかけとなるような職業体験や、仕事に関する話を聞く機会を充実させてほしい。」
(同様166件)
- ・「自分が関心をもつ仕事に就いている方を高校に招き、講話や体験活動を通して学ぶことができる授業を実施してほしい。」
(同様146件)
- ・「インターンシップを通して、実際の仕事の内容や働くことの大変さについて学びたい。」
(同様60件)

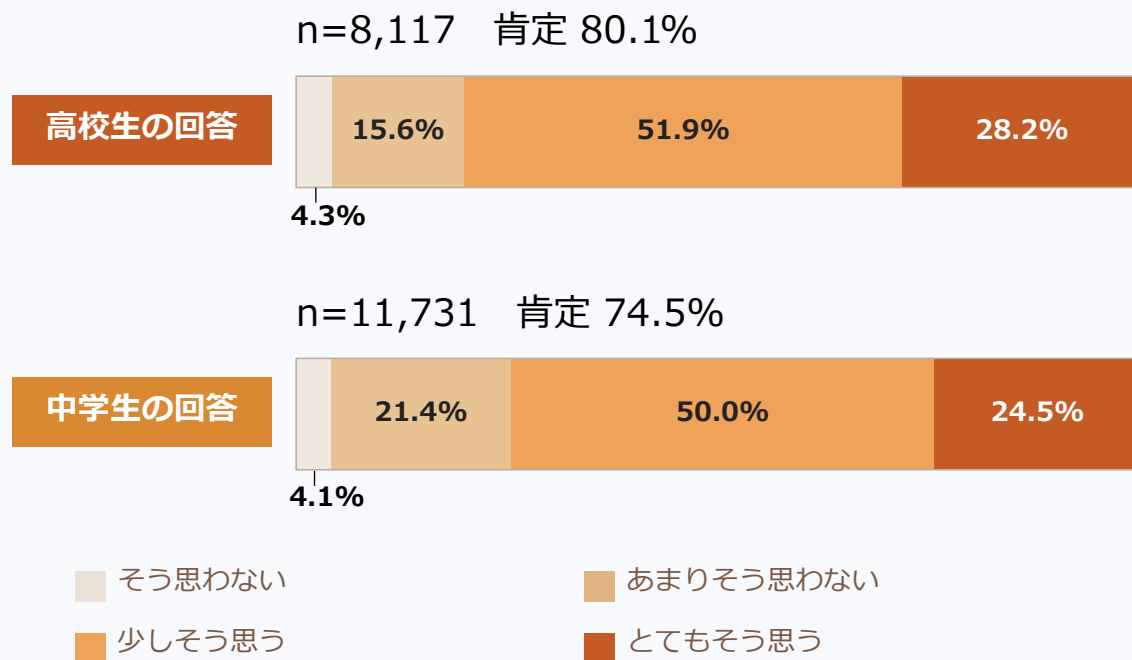
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q05 地域課題解決への参加

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：学びや活動を通して、地域の課題（人手不足・過疎・産業の衰退など）の解決に取り組む機会が、今よりもっとあるとよい。

中学生設問：高校での学びや活動を通じて、地域の課題を解決する取組に参加してみたい。



肯定回答者の自由記述（Q18~Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「総合的な探究の時間などで、地域のボランティア活動やイベントに参加したい。」（同様86件）
- ・「地域で行われている仕事や行事について、地域の方々と協力しながら体験できる活動に参加したい。」（同様42件）
- ・「地域が抱える環境課題について学び、その解決策を考える授業を実施してほしい。」（同様7件）

中学生

- ・「高校で、地域で働く方々から仕事や地域の取組について話を聞くことができる授業を実施してほしい。」（同様155件）
- ・「地域の祭りや伝統行事について学ぶ授業を高校で実施してほしい。」（同様50件）
- ・「高校で地域の方々と交流しながら地域課題を発見し、その解決に向けた取組に参加したい。」（同様30件）

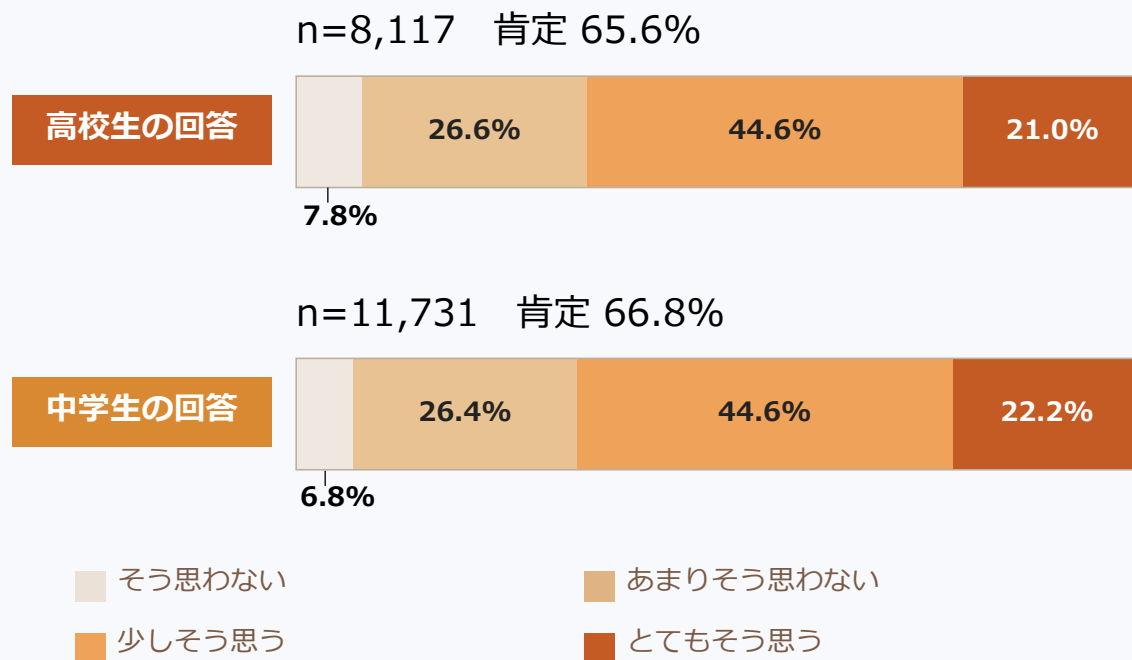
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q06 文系内容をデータや実験で考える学び

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：歴史・文学など文系の内容を「データや数字、実験の視点」から考えるような授業が、今よりもっとあるとよい。（例：町の歴史を人口変化の統計を使って分析する、物語を数学や理科の考え方をを使って科学的に検証するなど）

中学生設問：歴史・文学など文系の内容を「データや数字、実験の視点」から考えるような授業が、高校にあるとよい。（例：町の歴史を人口変化の統計を使って分析する、物語を数学や理科の考え方をを使って科学的に検証するなど）



肯定回答者の自由記述（Q18～Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「文系・理系の枠を越えて学び合い、多様な視点から考えることができる授業や話し合いの機会を設けてほしい。」
（同様156件）
- ・「自ら実験に取り組み、その結果を分析・考察する学習をもっと充実させてほしい。」
（同様62件）
- ・「国際問題や社会課題について、データや統計を基に考え、議論することができる授業を実施してほしい。」
（同様48件）
- ・「グラフやデータを読み取り、歴史的背景と関連付けながら考察する力を身に付けたい。」
（同様21件）

中学生

- ・「文系では校外での学習や社会との関わりを学ぶ活動を、理系では実験や体験を重視した授業を実施してほしい。」
（同様302件）
- ・「実験結果やデータから読み取れることを整理し、分かりやすく発表する力を身に付けられる授業を実施してほしい。」
（同様187件）
- ・「社会の出来事や課題について、データを基に分析・考察する授業を実施してほしい。」
（同様71件）

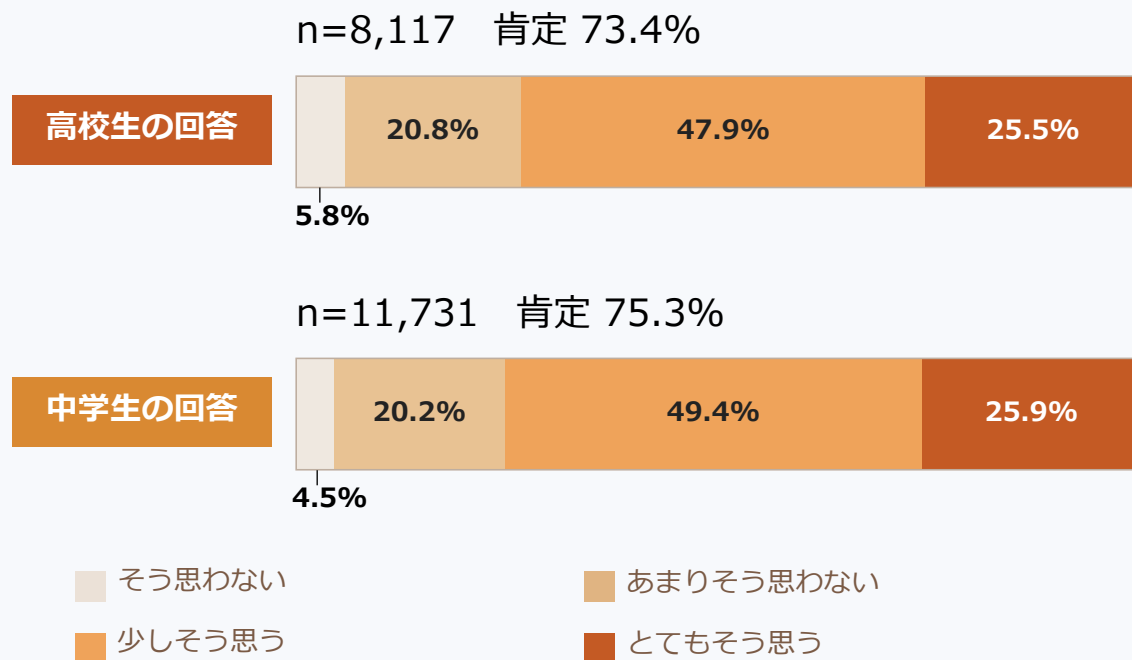
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：科学・技術・数学の内容を「歴史・倫理・社会・人間の視点」から考えるような授業が、今よりもっとあるとよい。（例：AIの倫理問題、エネルギー政策の社会的影響など）

中学生設問：科学・技術・数学の内容を「社会や国語の視点」から考えるような授業が、高校にあるとよい。（例：スマホの普及と人権の関係についてまとめる、プラスチック問題をどのような言葉ならより人々に伝わるか考えてまとめるなど）



肯定回答者の自由記述（Q18～Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「データや資料を活用し、自分の考えを言葉で表現できるよう、授業の中で話し合う機会を充実させてほしい。」（同様186件）
- ・「文系・理系の枠にとらわれず、両方に関連する内容について幅広く学びたい。」（同様28件）
- ・「AIについて、データの活用方法や、活用に伴う倫理的課題について学びたい。」（同様26件）
- ・「文系の視点から、AI技術やそれに伴う社会課題について深く学びたい。」（同様7件）

中学生

- ・「文系では校外での学習や社会との関わりを学ぶ活動を、理系では実験や体験を重視した授業を実施してほしい。」（同様366件）
- ・「環境問題について学び、その原因や改善策、対策について考えることができる授業を実施してほしい。」（同様56件）
- ・「生成AIやクローン技術などの仕組みについて学ぶとともに、それらが社会に与える影響や課題について議論する授業を実施してほしい。」（同様4件）

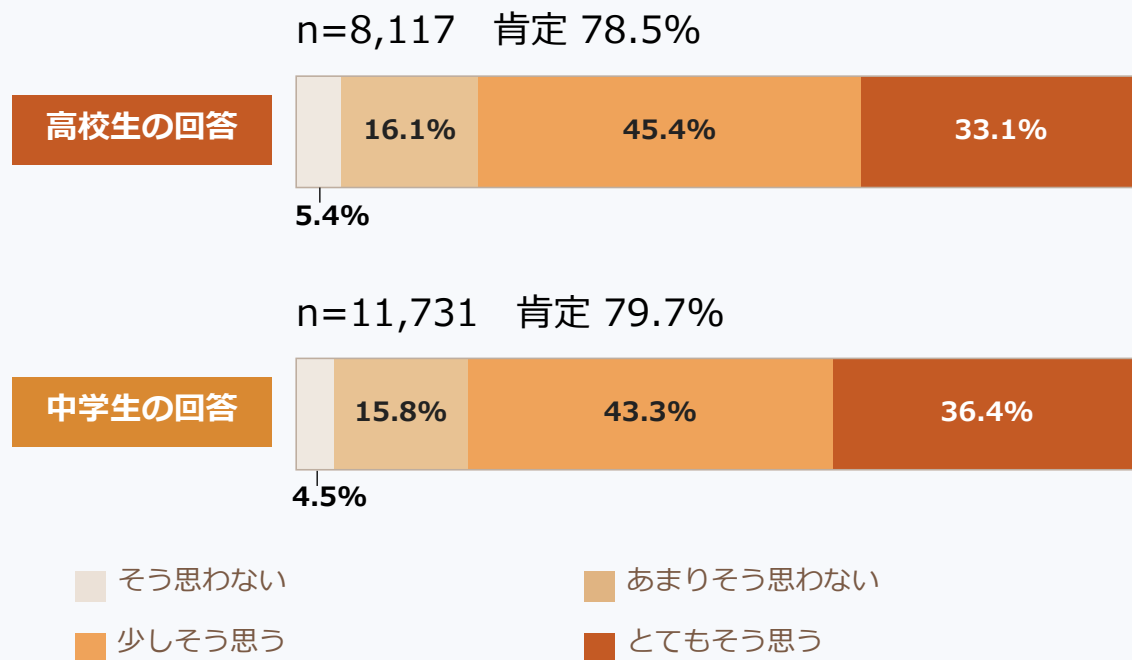
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q08 データを用いて意見を伝える力

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：グラフや数字・データを使って自分の意見を人に伝えたり発表したりする力を、もっと身に付けたい。

中学生設問：グラフや数字・データを使って自分の意見を人に伝えたり発表したりする力を、高校でもっと身に付けたい。



肯定回答者の自由記述（Q18~Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「データを基に自分の考えを整理し、分かりやすく発表する力を身に付けたい。」
(同様19件)
- ・「データを分析し、その結果を踏まえて自分の考えをまとめ、発信する力を身に付けたい。」
(同様12件)
- ・「科学的な根拠と歴史的な視点を関連付けながら、多角的に考察する授業を受けてみたい。」
(同様5件)

中学生

- ・「自分の考えを整理し、分かりやすく発表する力を身に付けたい。」
(同様97件)
- ・「自分の考えを深めて具体的な行動につなげる力を身に付けたい。」
(同様68件)

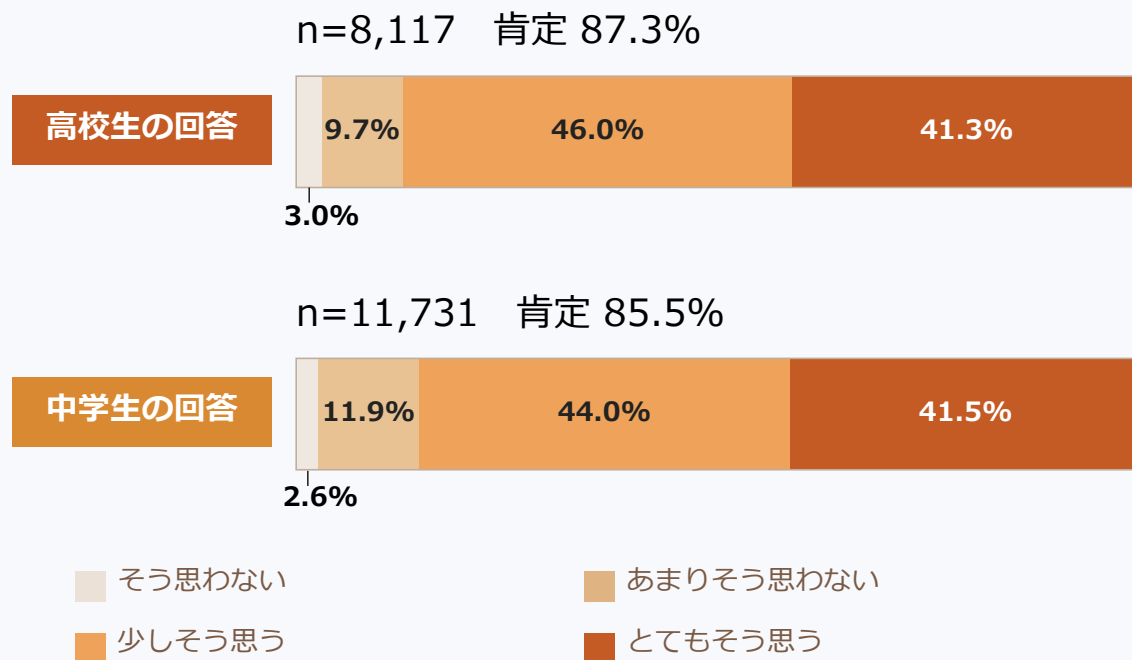
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q09 データや根拠に基づいて判断する力

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：ニュースや社会問題について、データや根拠をもとに自分で考えて判断する力を、もっと身に付けたい。

中学生設問：ニュースや社会問題について、データや根拠をもとに自分で考えて判断する力を、高校でもっと身に付けたい。



肯定回答者の自由記述（Q18~Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「グラフやデータを読み取り、歴史的背景と関連付けながら考察する力を身に付けたい。」
(同様11件)
- ・「データや情報を客観的に分析し、フェイクニュースや誤情報に惑わされずに判断する力を身に付けたい。」
(同様5件)
- ・「社会課題の現状について、様々な視点から考察する力を身に付けたい。」
(同様3件)

中学生

- ・「社会課題について自分なりに考え、その考えを発表する授業を実施してほしい。」
(同様68件)
- ・「歴史や哲学などの内容について、データやグラフを活用しながら読み解く授業を実施してほしい。」
(同様48件)
- ・「現代の世界情勢や日本の政治について、ニュースだけでは分からない背景や課題まで詳しく学べる授業を実施してほしい。」
(同様9件)

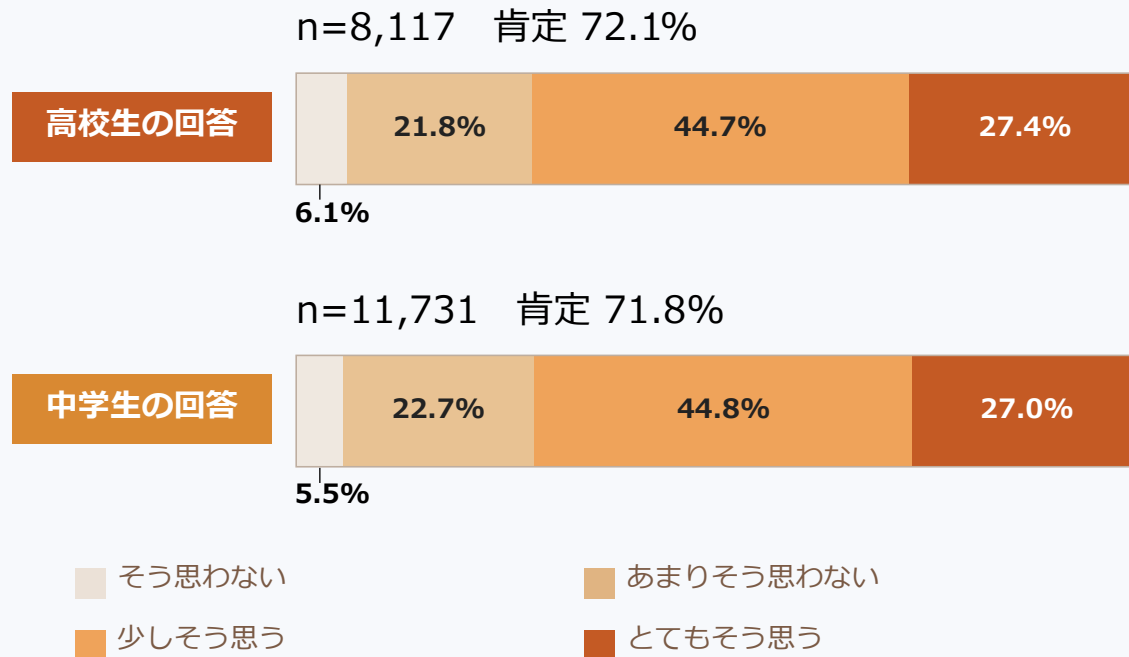
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q10 文理融合分野への関心

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：医療×AI・農業×データ・環境×工学・福祉×情報など、文系と理系を組み合わせた分野や仕事について、もっと学んでみたい。

中学生設問：医療×AI・農業×データ・環境×工学・福祉×情報など、文系と理系を組み合わせた分野や仕事について、高校でもっと学んでみたい。



肯定回答者の自由記述（Q18～Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「文系・理系の枠を越えて学び合い、多様な視点から考えることができる授業や話し合いの機会を設けてほしい。」
(同様202件)
- ・「スポーツ科学などの分野について、データを活用しながら科学的に分析・考察する授業を実施してほしい。」
(同様113件)
- ・「文系・理系の両方に関連する仕事について幅広く学びたい。」
(同様66件)

中学生

- ・「医療とAIとの関わりについて学ぶため、専門家による講話や体験的な学習を実施してほしい。」
(同様110件)

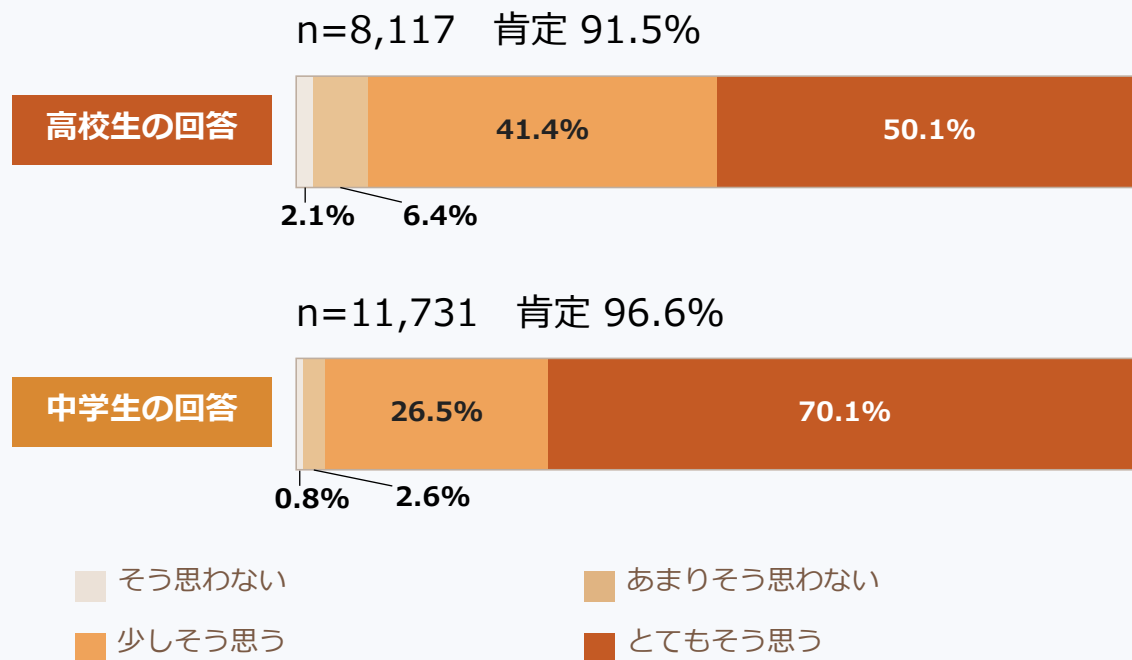
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：自分の学び方のペースや得意な方法に合わせて学べる授業や時間が、今よりもっとあるとよい。

中学生設問：自分の学び方のペースや得意な方法に合わせて学べる授業や時間が、高校にあるとよい。



肯定回答者の自由記述（Q18~Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「同じ分野に興味・関心をもつ生徒同士で学ぶ授業に参加したい。」（同様48件）
- ・「分からないことについてグループで話し合いながら、一緒に考えて解決策を見いだす学習に取り組みたい。」（同様24件）
- ・「自分と学び方や学習の進度が近い生徒同士で学ぶことができる授業を受けたい。」（同様18件）

中学生

- ・「自習室や生徒同士で学び合う機会があれば参加したい。」（同様224件）
- ・「自分のペースに合わせて学習したい。また、先生に気軽に相談できる環境を整えてほしい。」（同様130件）
- ・「自分の得意分野や興味・関心に応じて学ぶことができる授業に参加したい。」（同様93件）
- ・「分からないことを教え合ったり、自分に合った学び方について一緒に考えたりできる機会がほしい。」（同様53件）

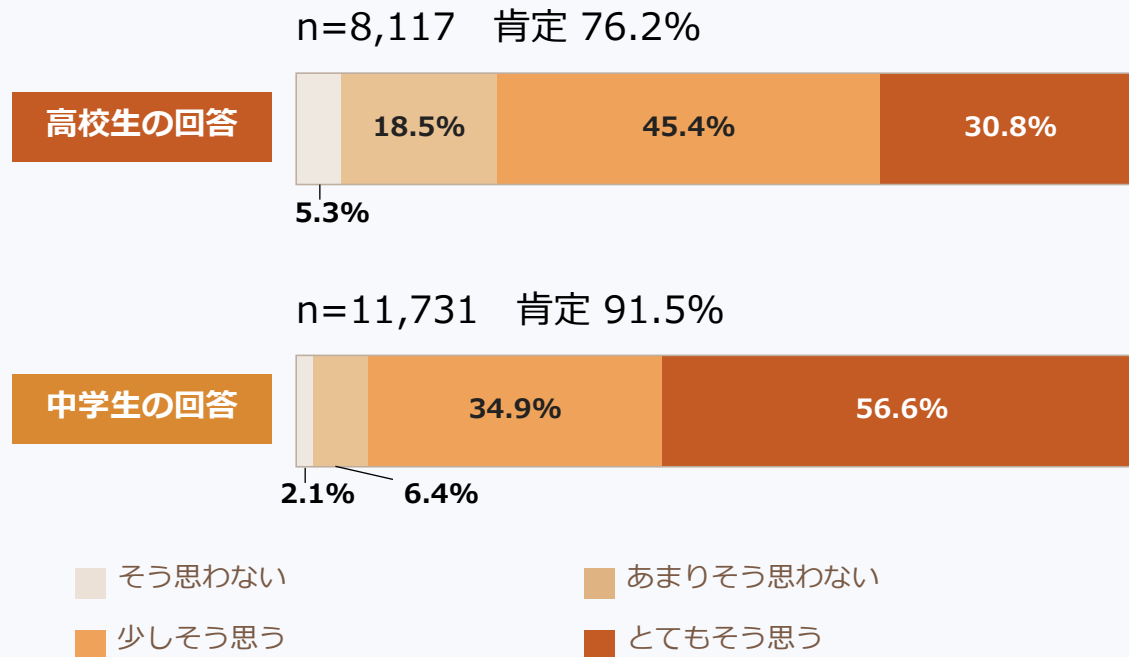
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q12 相談しやすい環境

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：悩みや困りごとを、先生やスクールカウンセラーなど学校の大人にもっと気軽に相談できる環境が、今よりもっとあるとよい。

中学生設問：悩みや困りごとを、先生やスクールカウンセラーなど学校の大人に気軽に相談できる環境が、高校にあるとよい。



肯定回答者の自由記述（Q18～Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「悩みや不安について気軽に相談できる環境を整えてほしい。」（同様42件）
- ・「分からないことを質問しやすい環境の中で学びたい。」（同様39件）
- ・「より多くの人々が気軽に相談できる相談体制を充実させてほしい。」（同様4件）
- ・「対面だけでなく、チャットや相談カードなどを活用して相談できる仕組みを整えてほしい。」（同様2件）

中学生

- ・「先生に相談したり質問したりしやすい環境を整えてほしい。」（同様216件）
- ・「自分が学びたいことに主体的に取り組めるよう、積極的に支援してほしい。」（同様215件）
- ・「一人一人が安心して快適に学校生活を送ることができる環境を整えてほしい。」（同様43件）
- ・「困ったときに気軽に相談できるカウンセラーや相談体制を充実させてほしい。」（同様38件）

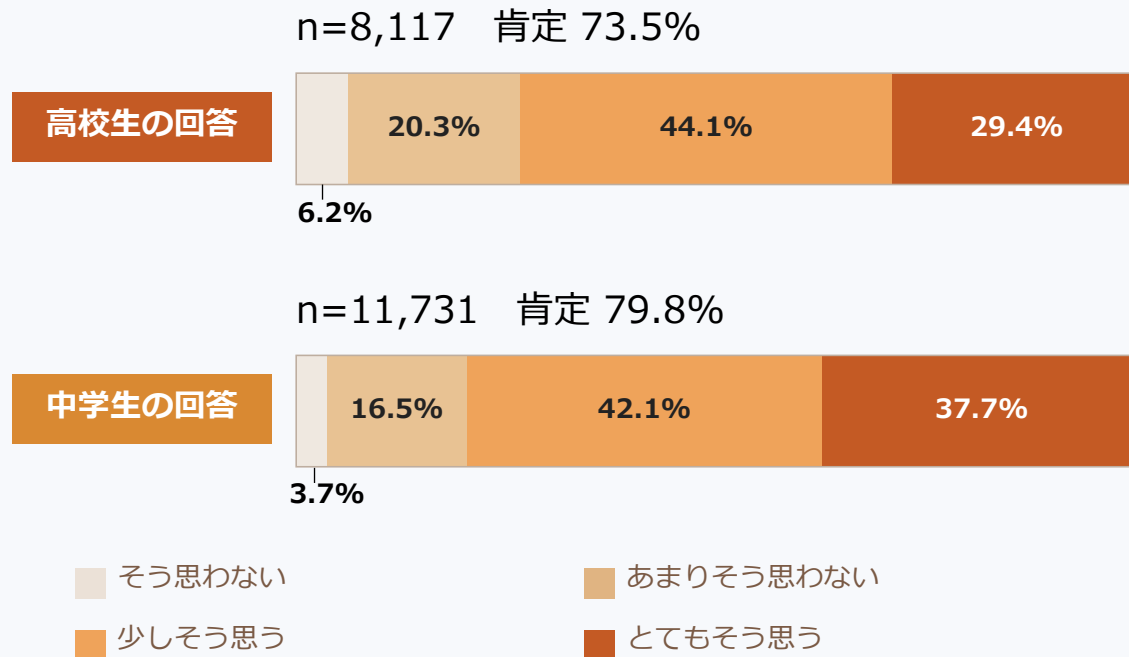
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：自分の学校以外の授業（他校との合同授業・大学の出前講義・オンライン授業など）を受けられる機会が、今よりもっとあるとよい。

中学生設問：自分の学校以外の授業（他校との合同授業・オンライン学習・大学体験など）を受けられる機会が、高校にあるとよい。



肯定回答者の自由記述（Q18～Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「外国の方々と交流できる機会や環境を充実させてほしい。」（同様75件）
- ・「大学生や社会人の話を直接聞くことができる機会があれば参加したい。」（同様50件）
- ・「県内外の高校との合同授業や交流活動があれば参加したい。」（同様22件）
- ・「オンライン授業や生徒同士で教え合いながら学習できる環境、自習スペースを充実させてほしい。」（同様15件）

中学生

- ・「外国の方々と話したり交流したりできる機会があれば参加したい。」（同様250件）
- ・「他校の生徒や地域の方々と交流できる授業や活動に参加したい。」（同様100件）
- ・「他の高校との合同授業や交流会、文化祭などの交流活動があれば参加したい。」（同様47件）
- ・「他校の生徒と合同で学習や体験活動を行ったり、オンライン授業に参加したりしたい。」（同様23件）

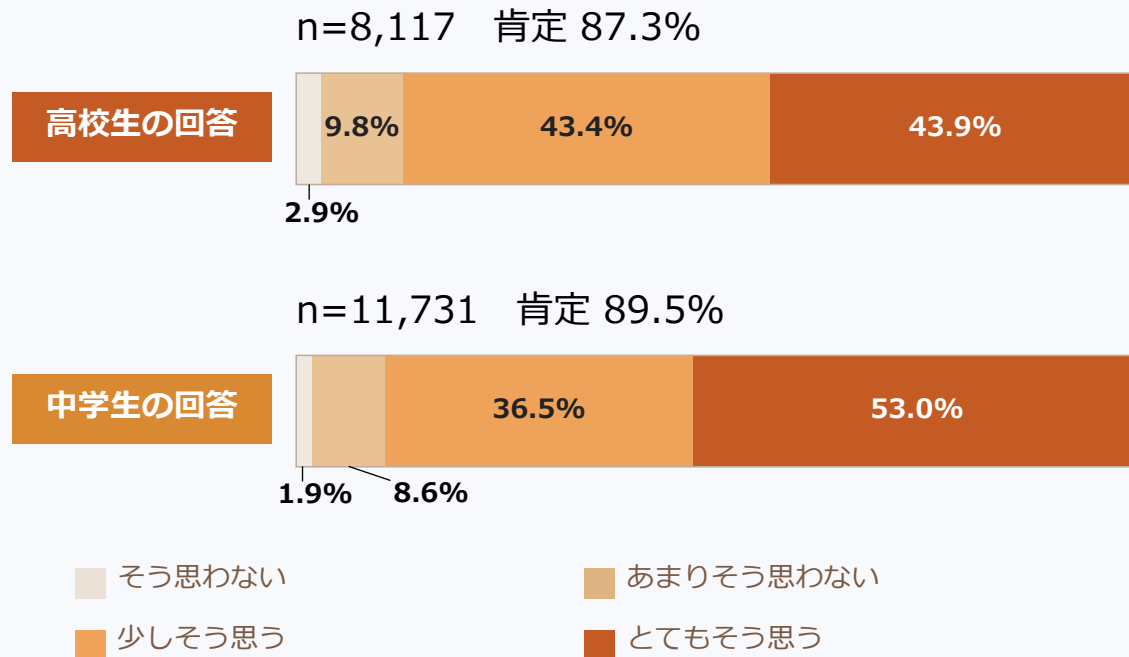
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q14 卒業後も学び続けようとする意欲

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：高校での学びを通じて、卒業後も学び続けたいと思える人になりたい。

中学生設問：高校で学ぶことで、卒業後も学び続けたいと思える人になりたい



肯定回答者の自由記述（Q18~Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「大学生や社会人から、進学や就職、仕事に関する話を直接聞くことができる機会があれば参加したい。」（同様80件）
- ・「将来の進路や職業選択に役立つ学習や体験活動があれば参加したい。」（同様3件）

中学生

- ・「働く方々の話を聞いたり、様々な職業を体験したりすることで、将来に役立つ学びを深めたい。」（同様7件）
- ・「高校では、大学受験や高校卒業後の進路について支援を受けるとともに、希望する職業に関する体験活動に参加したい。」（同様1件）

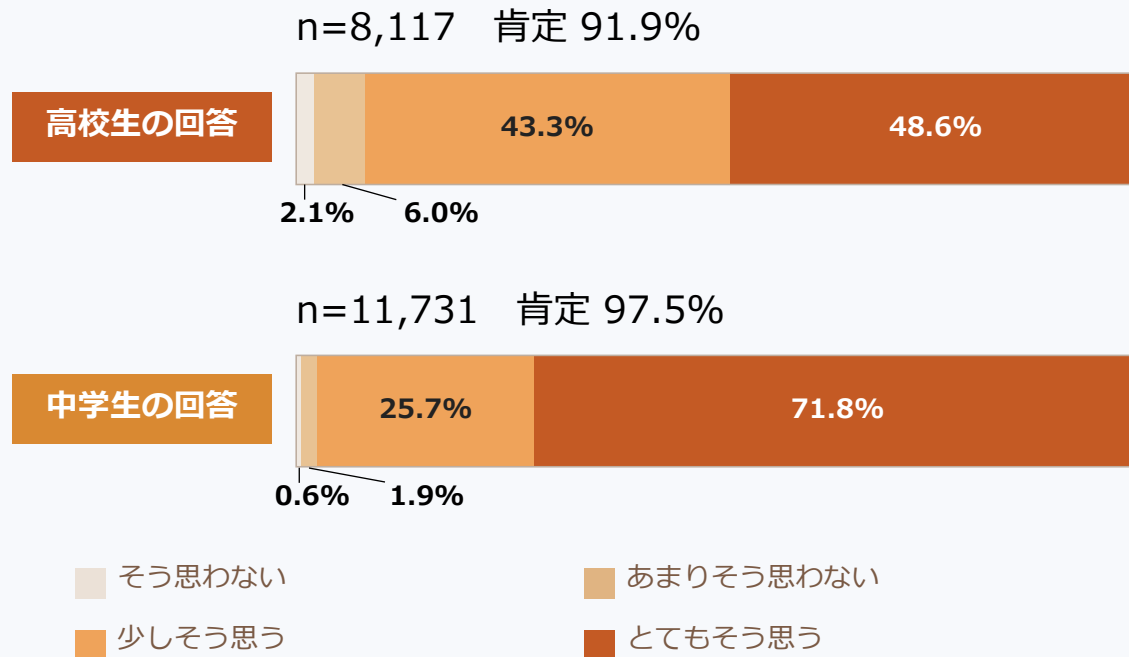
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q15 多様性を尊重した学ぶ環境

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：一人ひとりが互いの違いを理解し、尊重し合いながら、多様な人と共に学べる環境が、今よりもっとあるとよい。

中学生設問：一人ひとりが互いの違いを理解し、尊重し合いながら、多様な人と共に学べる環境が、高校にあるとよい。



肯定回答者の自由記述（Q18~Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「将来、外国語を学び、外国の方々と交流できる機会や環境を充実させてほしい。」
(同様179件)
- ・「自分に合った学び方や進路について助言を受けることができる環境を整えてほしい。」
(同様65件)
- ・「いじめや不登校などの悩みを抱える生徒も安心して通うことができる学校環境を整えてほしい。」
(同様6件)
- ・「価値観や考え方、興味・関心が近い仲間と出会い、ともに学ぶ機会がほしい。」
(同様3件)

中学生

- ・「外国の方々と話したり交流したりできる機会があれば参加したい。」
(同様525件)
- ・「自分に合った学び方をしている生徒同士が交流し、互いに学び合う機会を設けてほしい。」
(同様208件)
- ・「一人一人の理解度や学習進度に応じて学ぶことができる授業を実施してほしい。」
(同様114件)
- ・「多様な価値観や考え方に触れ、学ぶ機会を増やしてほしい。」
(同様5件)

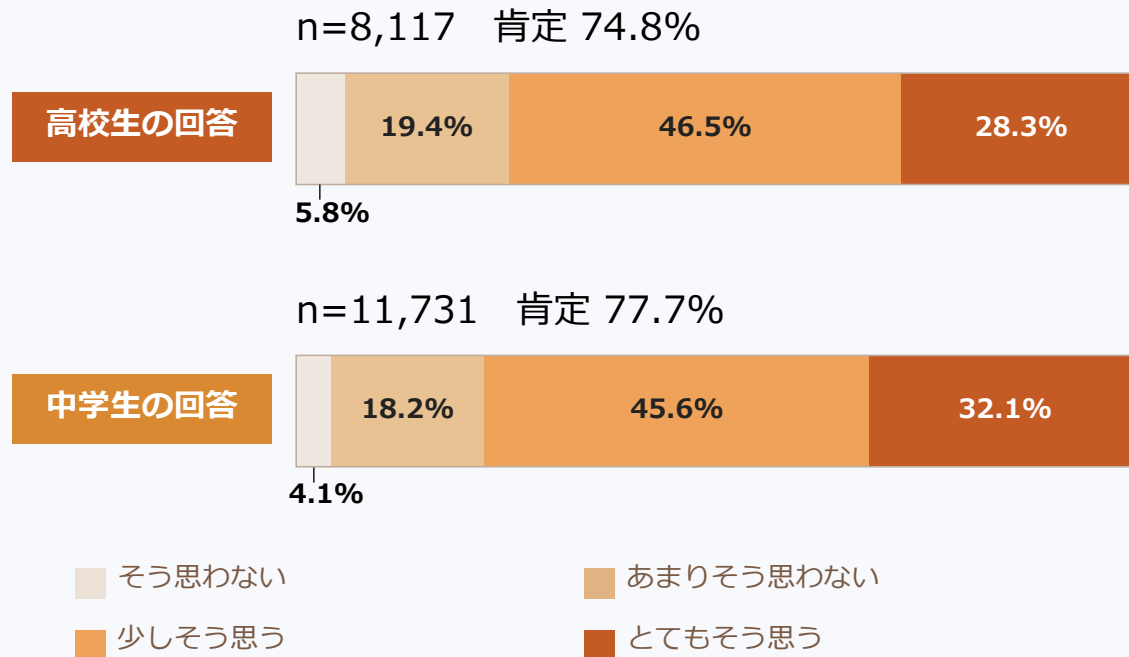
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q16 他校・大学等との共同探究の機会

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：自分の学校以外の高校生や大学生、他県の生徒などと一緒に研究や探究活動（合同発表・共同プロジェクト・他校連携探究など）に取り組む機会が、今よりもっとあるとよい。

中学生設問：他の高校の生徒や大学生・他県の生徒などと一緒に研究や探究活動（合同発表・共同プロジェクト・他校連携探究など）に取り組む機会が、高校にあるとよい。



肯定回答者の自由記述（Q18～Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「様々な人と意見を交わしながら、多様な考え方に触れることができる機会があれば参加したい。」（同様112件）
- ・「大学生や社会人から、進学や就職、仕事に関する話を直接聞くことができる機会があれば参加したい。」（同様20件）
- ・「他校の生徒や海外の人々と交流できるオンライン交流会や合同プロジェクトに参加したい。」（同様12件）
- ・「探究活動の成果について、他校の生徒と発表し合い、学びを共有する機会がほしい。」（同様5件）

中学生

- ・「大学教員や専門家などから直接学ぶことができる授業や交流の機会があれば参加したい。」（同様250件）
- ・「他校の生徒と交流しながら、多様な考え方に触れ、自分の考えを深める機会があれば参加したい。」（同様192件）
- ・「大学生や他校の生徒と交流できる機会があれば参加したい。」（同様44件）

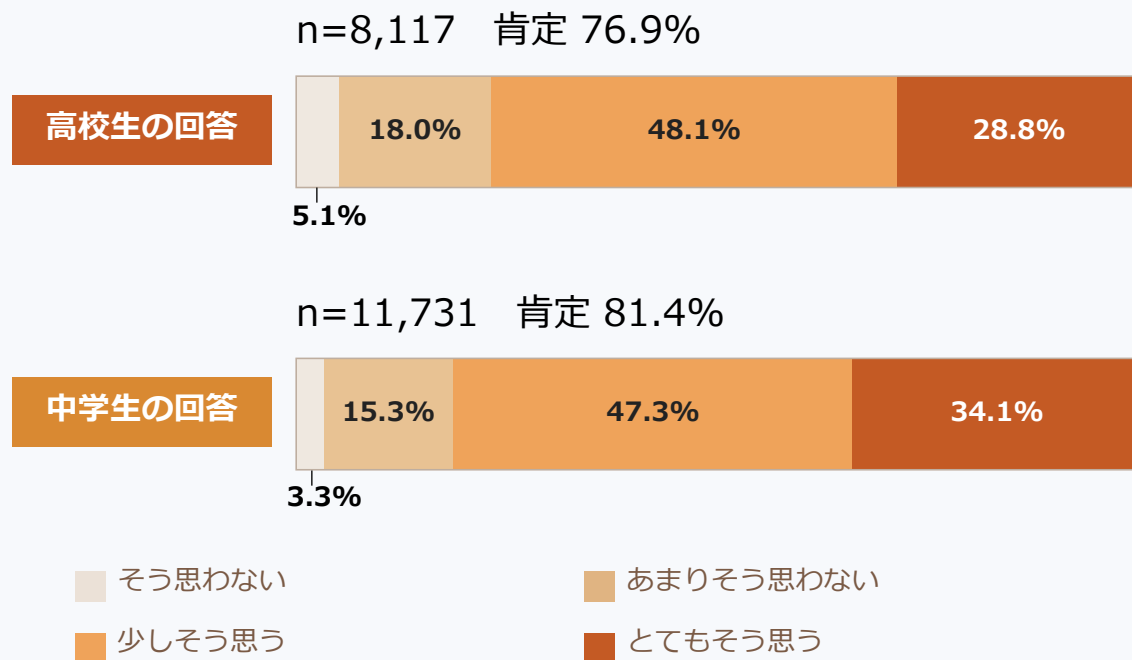
注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q17 専門家から学ぶ探究活動

帯グラフ内の数値は回答割合。肯定的回答率は右端に表示。

高校生設問：大学教授・大学院生・企業の研究者や専門家から直接アドバイスや指導を受けながら、研究や探究活動（実験・調査・データ分析・フィールドワークなど）に取り組む機会が、今よりもっとあるとよい。

中学生設問：大学の先生・大学院生・企業の研究者や専門家から直接アドバイスや指導を受けながら、研究や探究活動（実験・調査・データ分析・フィールドワークなど）に取り組む機会が、高校にあるとよい。



肯定回答者の自由記述（Q18～Q21）にみられた主な声

高校生

- ・「少人数で専門的な内容について深く学ぶことができる授業に参加したい。」（同様13件）
- ・「選択できる授業の幅を広げ、地域の方々や大学教員などから直接学ぶことができる機会を増やしてほしい。」（同様12件）
- ・「ものづくりの専門家や技術者から指導を受けることができる授業を実施してほしい。」（同様7件）

中学生

- ・「大学での学びを体験したり、職業分野ごとの専門的な知識について直接学んだりできる機会があれば参加したい。」（同様63件）
- ・「専門家の考え方や研究内容について学ぶことができる講演会やイベントがあれば参加したい。」（同様28件）
- ・「専門的な職業に就いている方から、技術指導や助言を受けたり、仕事に関する話を聞いたりする機会がほしい。」（同様14件）

注：中学生・高校生を別々に分析し、肯定回答者の関連自由記述を校種ごとに分類。各校種で件数上位項目を掲載。

Q18 地域の仕事や産業を学ぶ機会についての希望（自由記述）

主な回答のみ表示。

高校生設問：地域の仕事や産業を学ぶ機会について、「こういう体験や授業がほしい」「こういう取り組みに参加したい」などの希望を具体的に書いてください。

中学生設問：地域の仕事や産業を学ぶ機会について、「高校でこういう体験活動や授業を実施してほしい」「こういう取り組みに参加したい」などの希望を具体的に書いてください。

高校生

- ・ 職場体験の充実
- ・ インターンシップの拡充
- ・ 地域産業見学の実施
- ・ 地域産業について学ぶ授業
- ・ 観光産業について学ぶ授業
- ・ 農業体験の実施
- ・ 地域課題解決プロジェクトへの参加
- ・ 地域で働く人との交流
- ・ 企業課題を扱う探究学習
- ・ 多様な職業を知る機会の充実

中学生

- ・ 職場体験の充実
- ・ 工場見学の実施
- ・ 農業体験の実施
- ・ ボランティア活動への参加
- ・ 地域産業を学ぶ授業
- ・ 地域企業と連携学習
- ・ 地域課題解決活動
- ・ 働く人の話を聞く機会
- ・ 地域貢献活動への参加
- ・ 将来の仕事理解につながる学習

Q19 文系・理系を組み合わせた学びについての希望（自由記述）

主な回答のみ表示。

高校生設問：文系と理系を組み合わせた学びについて、「こういう授業や探究活動がほしい」「こういう力を身に付けたい」などの希望を具体的に書いてください。

中学生設問：文系（例えば国語や社会など）と理系（例えば数学や理科など）を組み合わせた学びについて、「高校でこういう探究活動や授業を実施してほしい」「こういう力を身に付けたい」などの希望を具体的に書いてください。

高校生

- ・ AI活用力
- ・ データ分析力
- ・ 実験を通じた学び
- ・ 文系と理系を結びつけた授業
- ・ 社会課題を扱う探究活動
- ・ コミュニケーション能力の向上
- ・ プレゼンテーション能力の向上
- ・ 英語と理科を組み合わせた学習
- ・ 日本語表現力の向上
- ・ 実社会に結びついた学習

中学生

- ・ AIや情報技術を活用する力
- ・ データや統計を活用せいで課題を分析する力
- ・ 実験結果や調査結果を分かりやすく説明する力
- ・ プレゼンテーション能力や表現力
- ・ 社会課題をテーマにした探究活動
- ・ 理科や数学の知識を実社会の課題解決に活用する学習
- ・ 文系・理系双方の視点から物事を考える力
- ・ コミュニケーション能力や言語力
- ・ 地域課題や環境問題をデータ分析と探究活動で学ぶ
- ・ 強化横断的な探究学習やプロジェクト学習の充実

Q20 自分に合った学び方や学習環境についての希望（自由記述）

主な回答のみ表示。

高校生設問：自分に合った学び方や多様な人と一緒に学ぶ環境について、「こういう環境や支援がほしい」「こういう機会があれば参加したい」ことを具体的に書いてください。

中学生設問：自分に合った学び方や多様な人と一緒に学ぶ環境について、「高校でこういう環境や支援がほしい」「こういう力を身に付けたい」などの希望を具体的に書いてください。

高校生

- ・他校生との交流機会
- ・地域住民との交流機会
- ・個別最適な学習支援
- ・学力に応じた支援体制
- ・静かな学習環境の整備
- ・放課後学習スペースの整備
- ・多様性を認め合う環境づくり
- ・相談しやすい環境づくり
- ・他世代との交流機会
- ・興味関心に応じた学習機会

中学生

- ・他校生と交流しながら学ぶ機会
- ・地域の人や社会人と交流する機会
- ・外国人や海外との交流機会の充実
- ・自分の進路や興味に応じた学習支援
- ・1人1人の学習ペースに合わせた指導
- ・分からないことを気軽に相談できる環境整備
- ・自習室や放課後学習スペースの整備
- ・生徒同士で教え合い、協力して学べる機会
- ・多様な価値観や個性を認め合える環境整備
- ・高校や大学、地域と連携した学習・交流機会の充実

Q21 高校教育への意見・提案（自由記述・高校生のみ回答）

主な回答のみ表示。

高校生設問：本県の高校や教育をよりよくするための施策や意見、提案などを自由に記入してください。（そのほか、今困っていることや、変えてほしいこと、要望等でも結構です。

高校生

- ・生徒一人一人に寄り添った授業を行ってほしい。
- ・個々の学力や理解度に応じた支援を充実してほしい。
- ・学習につまずいた生徒への支援を強化してほしい。
- ・自分の興味・関心に応じて学べる環境がほしい。
- ・進路選択に役立つ学習や指導を増やしてほしい。
- ・個々の進路に応じた支援を充実してほしい。
- ・将来の仕事や社会で役立つ学びを増やしてほしい。
- ・学校行事や体験活動を充実させてほしい。
- ・大学や地域と連携した学習機会を増やしてほしい。
- ・生徒が主体的に参加できる学校づくりを進めてほしい。
- ・校則や学校運営について生徒の意見を反映してほしい。

高校生

- ・生徒同士が交流できる機会を増やしてほしい。
- ・他校生徒との交流機会を増やしてほしい。
- ・地域の人との交流機会がほしい。
- ・校舎設備や教室環境を改善してほしい。
- ・安心して相談できる学校環境を整えてほしい。
- ・多様な価値観や個性を認め合う環境を充実してほしい。
- ・静かに学習できる環境を整備してほしい。
- ・ICT機器やパソコン設備を充実してほしい。
- ・放課後も利用できる学習スペースを整えてほしい。
- ・部活動や課外活動の環境を改善してほしい。
- ・トイレなど学校施設をきれいにしてほしい。

5 属性別クロス集計

中学生：性別別クロス集計

行は質問の短縮表現、セル内は肯定的回答率（％）。

質問項目	男性	女性	回答しない
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	80.0	78.0	71.3
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	80.4	75.5	66.3
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	76.0	73.7	66.9
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	84.1	85.4	75.1
Q05 地域課題解決への参加	76.3	73.0	63.0
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	74.2	59.0	67.4
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	78.0	72.6	72.4
Q08 データを用いて意見を伝える力	83.6	75.6	75.7
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	87.8	83.3	79.6
Q10 文理融合分野への関心	75.3	68.2	68.0
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	95.6	97.8	92.3
Q12 相談しやすい環境	88.8	94.6	81.8
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	77.9	81.8	74.0
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	87.6	91.8	84.5
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	96.8	98.2	95.0
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	78.5	76.8	76.8
Q17 専門家から学ぶ探究活動	82.9	79.9	80.1



中学生：希望課程別クロス集計

行は質問の短縮表現、セル内は肯定的回答率（％）。

質問項目	全日制	まだわからない	定時制	通信制	その他（就職など）
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	79.7	75.9	81.9	66.7	58.8
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	78.9	71.2	78.7	62.2	58.8
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	75.4	72.7	78.7	65.7	76.5
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	85.2	80.5	87.0	79.6	76.5
Q05 地域課題解決への参加	75.5	68.1	80.6	63.2	55.9
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	67.4	63.3	70.4	53.2	52.9
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	75.9	71.8	83.8	65.7	64.7
Q08 データを用いて意見を伝える力	80.7	71.8	79.6	64.2	58.8
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	86.6	76.7	86.6	72.1	64.7
Q10 文理融合分野への関心	72.8	65.4	73.1	57.7	47.1
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	96.8	94.9	97.7	95.0	76.5
Q12 相談しやすい環境	92.1	87.1	93.5	87.1	79.4
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	80.4	73.9	81.0	76.1	58.8
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	90.9	80.0	90.3	75.1	67.6
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	97.9	94.5	98.1	93.0	85.3
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	78.6	72.4	77.3	61.7	61.8
Q17 専門家から学ぶ探究活動	82.4	74.6	83.3	66.2	67.6



中学生：希望学科別クロス集計

行は質問の短縮表現、セル内は肯定的回答率（％）。

質問項目	普通科	希望なし	工業科	総合学科	商業科	家庭科	農業科	福祉科	水産科
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	77.9	72.0	85.3	82.3	84.4	81.2	91.9	88.0	86.7
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	77.1	67.3	88.4	78.7	80.4	79.2	88.6	85.5	90.0
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	70.5	69.7	94.1	79.4	88.8	85.1	91.5	96.4	93.3
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	84.1	76.4	89.8	88.7	86.8	89.6	87.1	95.2	90.0
Q05 地域課題解決への参加	74.6	63.1	81.8	75.5	74.3	79.0	82.3	81.9	86.7
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	68.6	55.5	74.6	65.1	62.9	53.8	67.9	54.2	56.7
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	76.2	66.3	78.9	77.6	73.4	70.8	82.7	73.5	73.3
Q08 データを用いて意見を伝える力	82.1	65.7	83.6	75.8	78.7	70.8	75.3	65.1	90.0
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	87.6	71.6	89.8	83.4	83.5	77.4	86.0	77.1	90.0
Q10 文理融合分野への関心	72.3	60.8	81.1	69.5	72.3	62.7	84.9	74.7	80.0
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	96.9	92.6	96.7	97.2	97.1	97.5	97.0	97.6	96.7
Q12 相談しやすい環境	92.0	86.3	90.4	94.7	91.9	92.5	92.3	92.8	86.7
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	81.3	70.4	76.3	81.2	78.9	79.2	79.0	83.1	76.7
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	92.1	76.4	86.5	89.0	88.6	87.6	86.3	85.5	80.0
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	97.9	93.2	97.6	96.9	98.0	98.0	99.3	98.8	96.7
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	79.1	67.3	80.8	78.0	76.9	73.3	75.3	73.5	86.7
Q17 専門家から学ぶ探究活動	82.6	70.4	85.7	82.1	79.3	76.5	81.9	75.9	90.0



高校生：性別別クロス集計

行は質問の短縮表現、セル内は肯定的回答率（％）。

質問項目	男性	女性	回答しない
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	76.8	74.6	58.7
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	80.7	78.9	71.9
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	76.8	66.8	61.1
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	76.3	77.1	62.3
Q05 地域課題解決への参加	80.9	79.7	68.9
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	72.3	59.3	55.1
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	79.1	68.0	64.1
Q08 データを用いて意見を伝える力	83.1	74.2	71.9
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	89.0	85.8	80.2
Q10 文理融合分野への関心	76.8	67.6	65.9
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	90.9	92.3	84.4
Q12 相談しやすい環境	74.1	78.5	72.5
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	73.4	73.8	67.7
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	86.4	88.7	76.0
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	90.9	93.2	83.8
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	76.4	73.5	66.5
Q17 専門家から学ぶ探究活動	79.0	75.0	70.7



高校生：在籍課程別クロス集計

行は質問の短縮表現、セル内は肯定的回答率（％）。

質問項目	全日制	定時制	通信制
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	75.5	76.0	65.1
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	79.9	76.5	61.6
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	71.5	78.3	65.1
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	76.4	81.0	69.8
Q05 地域課題解決への参加	80.1	84.2	70.9
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	65.5	71.0	61.6
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	73.3	76.5	72.1
Q08 データを用いて意見を伝える力	78.7	75.6	66.3
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	87.2	90.0	84.9
Q10 文理融合分野への関心	72.2	71.0	62.8
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	91.5	91.0	86.0
Q12 相談しやすい環境	76.2	81.4	65.1
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	73.7	72.4	57.0
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	87.5	86.0	73.3
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	92.0	91.4	86.0
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	75.0	75.1	55.8
Q17 専門家から学ぶ探究活動	77.0	77.4	64.0



高校生：在籍学科別クロス集計

行は質問の短縮表現、セル内は肯定的回答率（％）。

質問項目	普通科	総合学科	工業科	商業科	農業科	家庭科	水産科	福祉科
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	73.2	70.2	85.4	81.6	86.5	72.9	91.7	76.9
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	77.8	76.0	88.3	81.6	90.3	79.8	87.5	76.9
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	66.1	68.6	92.2	84.2	86.8	78.2	91.7	92.3
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	74.1	76.1	85.4	74.7	87.2	81.9	83.3	92.3
Q05 地域課題解決への参加	78.0	78.4	88.3	81.8	89.6	82.4	91.7	92.3
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	63.9	61.2	76.9	66.7	75.3	58.5	75.0	84.6
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	73.0	65.3	82.9	72.1	80.8	66.0	83.3	76.9
Q08 データを用いて意見を伝える力	79.9	71.2	81.8	76.4	77.3	66.0	87.5	92.3
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	88.3	82.3	89.2	84.2	87.2	80.3	87.5	84.6
Q10 文理融合分野への関心	72.2	64.7	79.4	70.5	79.2	55.9	87.5	84.6
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	91.8	90.4	91.7	89.4	91.4	92.0	87.5	92.3
Q12 相談しやすい環境	74.6	76.2	79.9	78.8	84.5	77.1	79.2	100.0
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	73.1	70.9	77.6	68.7	80.1	73.4	79.2	92.3
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	88.5	85.0	85.4	82.8	86.1	86.2	87.5	100.0
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	91.9	91.6	92.5	90.0	93.2	92.6	91.7	92.3
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	73.8	70.9	80.5	75.8	83.4	70.2	79.2	92.3
Q17 専門家から学ぶ探究活動	76.7	72.1	82.1	75.8	83.0	68.6	87.5	84.6



中学生：希望学科別クロス集計

セル内は「とてもそう思う」の割合（％）。括弧内は回答者数。

「とてもそう思う」	普通科（スポーツ科、数理学科を含む） (n=7,417)	まだわからない (n=1,065)	工業科 (n=958)	総合学科 (n=776)	商業科 (n=455)	家庭科 (n=442)	農業科 (n=271)	福祉科 (n=83)
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	27.2	20.8	34.1	29.9	36.9	30.3	40.2	51.8
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	28.7	19.0	39.1	29.6	34.5	27.1	43.5	43.4
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	28.8	22.7	59.7	31.7	51.9	40.7	56.5	75.9
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	35.7	25.9	46.7	38.9	37.1	43.0	46.9	51.8
Q05 地域課題解決への参加	24.6	15.7	30.0	24.4	27.3	23.5	31.4	38.6
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	24.4	12.0	26.7	18.7	18.7	10.6	20.3	18.1
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	26.7	16.2	30.2	26.2	25.5	21.0	33.9	25.3
Q08 データを用いて意見を伝える力	39.9	19.7	39.0	28.1	33.2	24.0	33.9	30.1
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	45.2	24.4	42.4	33.5	38.9	29.6	39.1	36.1
Q10 文理融合分野への関心	27.5	16.2	36.2	24.1	27.5	16.5	37.3	36.1
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	71.0	59.4	66.5	73.8	69.5	74.4	72.0	79.5
Q12 相談しやすい環境	58.0	47.6	51.5	55.8	57.1	64.0	58.3	77.1
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	39.9	25.0	36.7	36.7	36.5	34.4	32.8	36.1
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	58.0	31.8	46.8	49.5	47.9	43.9	45.4	59.0
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	74.9	54.8	66.5	70.9	68.4	73.8	71.6	78.3
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	33.9	19.9	35.4	29.6	29.7	27.4	32.1	27.7
Q17 専門家から学ぶ探究活動	36.4	19.7	38.4	31.2	28.6	24.7	35.8	32.5

高校生：在籍学科別クロス集計

セル内は「とてもそう思う」の割合（％）。括弧内は回答者数。

「とてもそう思う」	普通科（スポーツ科、数理学科を含む） (n=5,302)	総合学科 (n=841)	工業科 (n=795)	商業科 (n=501)	農業科 (n=453)	家庭科 (n=188)	水産科 (n=24)	福祉科 (n=13)
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	21.5	18.5	30.4	29.5	32.2	24.5	29.2	30.8
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	31.2	26.5	36.4	36.9	37.5	34.6	54.2	38.5
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	24.2	23.3	46.7	40.3	38.2	26.1	50.0	53.8
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	26.1	24.6	33.0	29.1	34.0	30.9	37.5	46.2
Q05 地域課題解決への参加	26.8	24.3	34.5	30.7	37.3	25.0	33.3	53.8
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	21.0	16.8	24.2	21.8	24.5	17.0	33.3	23.1
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	26.5	18.1	28.9	23.8	27.2	15.4	33.3	23.1
Q08 データを用いて意見を伝える力	35.0	26.3	32.1	34.3	28.7	21.8	45.8	38.5
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	44.5	31.9	38.1	39.9	34.2	29.3	37.5	30.8
Q10 文理融合分野への関心	28.8	20.9	28.6	22.8	28.5	18.6	41.7	53.8
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	53.0	43.2	43.0	47.5	44.6	48.9	37.5	38.5
Q12 相談しやすい環境	30.6	30.0	31.1	32.3	33.6	29.8	37.5	38.5
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	30.3	25.1	29.4	26.9	30.5	23.9	37.5	46.2
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	47.6	36.5	35.1	40.7	37.7	34.0	54.2	30.8
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	50.8	44.9	40.6	49.5	43.9	43.6	45.8	53.8
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	29.3	22.5	28.6	26.7	30.9	23.4	37.5	30.8
Q17 専門家から学ぶ探究活動	30.3	22.8	27.5	27.1	28.5	23.9	45.8	23.1

6 類型別比較

類型 1 宇都宮工業：拠点校・協力校の比較

拠点校：宇都宮工業高等学校（全日制）（n=234）／協力校：協力校加重平均（n=983）

質問項目	拠点校	協力校	差
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	88.5	83.5	+5.0
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	90.2	87.1	+3.1
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	94.4	88.4	+6.0
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	89.3	82.2	+7.1
Q05 地域課題解決への参加	91.0	86.2	+4.8
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	76.5	73.3	+3.2
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	85.9	78.7	+7.2
Q08 データを用いて意見を伝える力	87.2	78.1	+9.1
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	91.0	87.8	+3.2
Q10 文理融合分野への関心	82.9	74.4	+8.5
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	92.3	91.9	+0.4
Q12 相談しやすい環境	80.3	81.0	-0.7
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	79.1	76.7	+2.4
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	88.5	85.1	+3.4
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	94.4	91.8	+2.6
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	84.6	78.4	+6.2
Q17 専門家から学ぶ探究活動	83.3	79.9	+3.4

類型1 那須拓陽：拠点校・協力校の比較

拠点校：那須拓陽高等学校（全日制）（n=181）／協力校：協力校加重平均（n=778）

質問項目	拠点校	協力校	差
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	81.8	82.5	-0.7
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	79.6	86.4	-6.8
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	77.3	86.9	-9.6
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	86.2	83.2	+3.0
Q05 地域課題解決への参加	87.8	85.9	+1.9
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	65.7	71.9	-6.2
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	72.4	77.6	-5.2
Q08 データを用いて意見を伝える力	75.7	75.1	+0.6
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	86.2	86.2	+0.0
Q10 文理融合分野への関心	69.1	73.7	-4.6
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	89.0	90.6	-1.6
Q12 相談しやすい環境	85.1	82.3	+2.8
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	72.9	78.0	-5.1
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	86.2	85.5	+0.7
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	95.0	90.6	+4.4
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	77.9	79.3	-1.4
Q17 専門家から学ぶ探究活動	75.7	81.0	-5.3

類型 2 宇都宮：拠点校・協力校の比較

拠点校：宇都宮高等学校（全日制）（n=203）／協力校：協力校加重平均（n=2,841）

質問項目	拠点校	協力校	差
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	70.0	73.9	-3.9
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	77.8	79.8	-2.0
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	62.1	64.8	-2.7
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	63.1	74.4	-11.3
Q05 地域課題解決への参加	74.4	78.1	-3.7
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	72.4	63.7	+8.7
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	74.9	74.8	+0.1
Q08 データを用いて意見を伝える力	85.7	83.3	+2.4
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	89.7	90.4	-0.7
Q10 文理融合分野への関心	75.9	76.0	-0.1
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	84.7	93.4	-8.7
Q12 相談しやすい環境	57.1	74.8	-17.7
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	67.0	75.0	-8.0
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	85.7	91.6	-5.9
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	85.2	93.1	-7.9
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	69.0	75.7	-6.7
Q17 専門家から学ぶ探究活動	73.9	79.1	-5.2

類型3 宇都宮清陵：拠点校・協力校の比較

拠点校：宇都宮清陵高等学校（全日制）（n=151）／協力校：協力校加重平均（n=688）

質問項目	拠点校	協力校	差
Q01 地域に必要な仕事について学ぶ機会	77.5	71.8	+5.7
Q02 企業や地域課題を扱う職業体験に関する興味・関心	80.8	73.5	+7.3
Q03 資格・専門技術を生かす地域産業への関心	74.2	72.4	+1.8
Q04 企業・専門家から学ぶ授業	82.1	75.7	+6.4
Q05 地域課題解決への参加	79.5	77.8	+1.7
Q06 文系内容をデータや実験で考える学び	69.5	65.6	+3.9
Q07 理系内容を社会や人間の視点で考える学び	74.2	71.4	+2.8
Q08 データを用いて意見を伝える力	72.2	70.2	+2.0
Q09 データや根拠に基づいて判断する力	84.8	83.4	+1.4
Q10 文理融合分野への関心	70.2	64.1	+6.1
Q11 自分に合ったペースや方法で学ぶ	85.4	88.4	-3.0
Q12 相談しやすい環境	80.8	75.7	+5.1
Q13 他校・大学・オンライン等での授業機会	76.2	68.0	+8.2
Q14 卒業後も学び続けようとする意欲	85.4	79.8	+5.6
Q15 多様性を尊重した学ぶ環境	92.7	88.5	+4.2
Q16 他校・大学等との共同探究の機会	80.1	67.0	+13.1
Q17 専門家から学ぶ探究活動	79.5	70.2	+9.3